

平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エスケーエレクトロニクス
コード番号 6677 URL <http://www.sk-el.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 昌徳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 藪内 清視

TEL 075-441-2333

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	3,782	40.4	333	—	202	—	196	—
24年9月期第1四半期	2,693	△50.2	△456	—	△465	—	△449	—

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 590百万円 (—%) 24年9月期第1四半期 △670百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	1,730.71	—
24年9月期第1四半期	△3,968.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第1四半期	17,045	8,347	43.2	64,929.90
24年9月期	16,516	7,757	41.3	60,227.60

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 7,361百万円 24年9月期 6,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想は未定とさせていただきます。

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

第1四半期(10月1日より12月31日まで)の決算発表時に第2四半期累計期間の連結業績予想を公表する予定でしたが、現在、主要顧客と大型物件の受注交渉中であり、本物件の受注時期により業績予想が大きく変動いたします。従いまして、現段階で合理的な上期業績予想をする事が困難であるため、今回の決算発表では第2四半期累計期間の連結業績予想の開示を控えさせていただきます。なお、本物件の受注時期が確定でき次第速やかに、第2四半期累計期間の連結業績予想を開示させていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期1Q	113,684 株	24年9月期	113,684 株
25年9月期1Q	312 株	24年9月期	312 株
25年9月期1Q	113,372 株	24年9月期1Q	113,372 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州諸国を発端とする財政問題が長期化する中、中国をはじめとした新興国経済の減速が続いており、依然として厳しい状況で推移いたしました。

わが国経済においては、東日本大震災の復興関連需要を背景に景気は緩やかな回復基調となっているものの、中国・韓国との外交問題による経済への悪影響が懸念されるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況にあります。

フラットパネルディスプレイ業界におきましては、米アップルより小型のタブレット端末「iPad mini」が発売され好調な販売を記録するとともに、韓国サムスン電子の「ギャラクシー」シリーズをはじめとするアンドロイドOSを搭載するスマートフォンやタブレット端末も前期に引き続き需要が拡大し、中小型パネル市場は活況を維持いたしました。

また、大型パネル市場につきましては、中国政府の補助金政策への期待や春節商戦向けにセットメーカー各社が、テレビ向け液晶パネルの調達を増加させたことに対応し、パネルメーカーの稼働率は高水準となり、パネルメーカーの収益も一部改善いたしました。

そのような状況の中、当社グループでは、第10世代用フォトマスクにおきましては、今期にずれ込んだ需要が出始めており、一定程度の受注をいたしました。また、第8世代以下のフォトマスクにおきましては、スマートフォンやタブレット端末向けの中小型フォトマスクの開発需要が引き続き堅調に推移いたしました。

その結果、当社グループの連結業績につきましては、売上高37億82百万円（前年同期比40.4%増）となりました。利益につきましては、営業利益3億33百万円（前年同期は営業損失4億56百万円）、経常利益2億2百万円（前年同期は経常損失4億65百万円）、四半期純利益1億96百万円（前年同期は四半期純損失4億49百万円）となり、前年同期と比べ増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて5億28百万円増加し170億45百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具等の減価償却が進んだ一方で、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて61百万円減少し86億97百万円となりました。これは主に、既存長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の返済を進めた一方で、新たに短期借入金の借入れを実行したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5億90百万円増加し83億47百万円となりました。これは主に、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期(10月1日より12月31日まで)の決算発表時に第2四半期累計期間の連結業績予想を公表する予定でしたが、現在、主要顧客と大型物件の受注交渉中であり、本物件の受注時期により業績予想が大きく変動いたします。従いまして、現段階で合理的な上期業績予想をする事が困難であるため、今回の決算発表では第2四半期累計期間の連結業績予想の開示を控えさせていただきます。なお、本物件の受注時期が確定でき次第速やかに、第2四半期累計期間の連結業績予想を開示させていただきます。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度末において、多額の営業損失、経常損失、当期純損失を計上したことに加え、シンジケートローン契約に付されている財務制限条項に抵触したため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しておりました。当第1四半期連結累計期間においても売上規模、収益性回復の兆しはあるものの、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。

当該状況を解消し、又は改善するための今後の対応策として、当社グループ策定の「中期経営改善計画」をもとに、①金融機関からの継続的な支援協力の同意の獲得、②売上規模の回復及び事業構造改革の更なる推進により収益の回復に努めてまいります。②の売上規模、収益性回復のための具体的な施策は次のとおりであります。

<売上規模、収益性回復のための具体的な施策>

1. 技術営業部の新設により顧客ニーズを速やかに実現し、競合他社との差別化を図る。
2. 多階調マスクに次ぐ新たな高付加価値マスクの開発、及び拡販を推進する。
3. 低価格材料プロジェクトを発足し、抜本的な仕様・生産工程の見直しや、低価格材料の開発による製造原価の低減を推進する。
4. 世界唯一の第10世代用フォトマスクの供給メーカーとしての優位性を最大限に活かす。

以上のことから、当社グループの継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,056,137	2,182,136
受取手形及び売掛金	2,921,065	4,961,254
商品及び製品	15,216	17,651
仕掛品	73,659	66,979
原材料及び貯蔵品	1,144,606	1,075,280
その他	309,935	144,985
貸倒引当金	△182	△188
流動資産合計	7,520,439	8,448,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,830,466	3,789,529
機械装置及び運搬具（純額）	2,837,106	2,448,053
土地	1,607,750	1,607,750
その他（純額）	103,908	94,499
有形固定資産合計	8,379,233	7,939,832
無形固定資産		
のれん	34,945	42,261
ソフトウェア	212,281	205,567
無形固定資産合計	247,227	247,828
投資その他の資産		
投資有価証券	145,516	184,060
長期貸付金	150,000	146,147
その他	74,434	79,733
貸倒引当金	△100	△100
投資その他の資産合計	369,851	409,841
固定資産合計	8,996,312	8,597,502
資産合計	16,516,752	17,045,601
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,417,717	3,220,288
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,737,500	2,025,000
未払法人税等	16,000	9,000
役員賞与引当金	—	26,000
その他	503,145	496,715
流動負債合計	6,674,362	6,777,004
固定負債		
長期借入金	2,000,000	1,850,000
繰延税金負債	2,339	7,059
その他	82,333	63,562
固定負債合計	2,084,673	1,920,621
負債合計	8,759,035	8,697,626

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,722	4,109,722
資本剰余金	4,335,413	4,335,413
利益剰余金	△783,267	△587,052
自己株式	△48,338	△48,338
株主資本合計	7,613,530	7,809,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,055	76,880
為替換算調整勘定	△828,463	△525,391
その他の包括利益累計額合計	△785,407	△448,511
少数株主持分	929,592	986,742
純資産合計	7,757,716	8,347,975
負債純資産合計	16,516,752	17,045,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	2,693,432	3,782,008
売上原価	2,603,288	2,976,454
売上総利益	90,144	805,554
販売費及び一般管理費	546,721	471,711
営業利益又は営業損失(△)	△456,576	333,842
営業外収益		
受取利息	1,058	1,645
不動産賃貸料	7,381	7,331
受取保険料	—	11,994
償却債権取立益	8,890	—
その他	3,835	8,578
営業外収益合計	21,167	29,549
営業外費用		
支払利息	16,482	12,156
為替差損	5,923	145,400
その他	7,724	3,703
営業外費用合計	30,130	161,260
経常利益又は経常損失(△)	△465,540	202,131
特別利益		
投資有価証券売却益	2,999	—
特別利益合計	2,999	—
特別損失		
有形固定資産除却損	37	121
特別損失合計	37	121
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△462,577	202,010
法人税、住民税及び事業税	3,315	36,502
法人税等合計	3,315	36,502
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△465,893	165,507
少数株主損失(△)	△15,998	△30,706
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△449,894	196,214

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△465,893	165,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,917	33,824
為替換算調整勘定	△222,559	390,927
その他の包括利益合計	△204,641	424,751
四半期包括利益	△670,534	590,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△603,733	533,109
少数株主に係る四半期包括利益	△66,800	57,149

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。